

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	①令和4年3月25日（金曜）9時30分～10時15分 ②令和4年3月29日（火曜）11時00分～12時15分
場 所	①大阪市役所本庁舎5階秘書担当会議室 ②大阪市役所本庁舎5階応接室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)： 清水特別参与・山本特別参与 (職員等)： 政策企画室（市民情報部長、広報担当課長）
論 点	・令和4年度広報担当の取組みについて
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・写真素材購入については、どのようなものが利用されているのか、使用状況を把握しておくくと来年度以降の参考になる。 ・民間ネット調査結果において、約7割の人が市政情報を得られていると感じているのは素晴らしいことだと思うが、実態と差があるのではないかな。 ・市政情報を必要としていない人に関心を持ってもらうのは難しい。必要としている人に対してアプローチする現状のやり方でいいと思う。 ・民間ネット調査については、指標として把握する上では意味があるが、サンプル数が500しかないので、実際の世の中の状況を知るためには、例えば5年に1回でも世論調査のような大規模調査を検討するのはどうか。 ・人材育成については、スキルも大事だが、「伝える・伝わる」意識が重要。そういう意味でも研修後の意見交換会はいいい取り組みだと思う。 ・広報紙を使って若年層に情報を届けるのは難しい。紙でのあり方を検討する時代に入ってきている。 ・広報担当者の上司に対するアプローチについては、研修を受けてもらうだけではなく、現場の担当者の声を知ってもらうことが大事。知ることによって研修を行う目的を理解してもらえ、意識改革につながる。
結 論	・本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 (部 課)	政策企画室市民情報部広報担当